

平成29年度

第2回森林・林業公開講座を開催しました。

当センターの自主開発課題で取り組んでいる「様々な苗サイズに適応した下刈り技術の開発」の取り組み状況についてと題して所長が発表を行いました。

開催日：平成30年2月27日

場所：笠間市友部公民館2階大会議室

参加者：73名



主催者挨拶をする田口所長

講演は、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 震災復興・放射性物質研究拠点長 金子信司氏をお招きし

「福島原発事故の放射性物質はどこに行ったのでしょうか」と題して講演をいただきました。

金子先生には放射能の特性について大変わかりやすくお話いただき、漠然としていた放射能に対する理解を深めることができました。セシウムとカリウムと似ていることから、植物がカリウムと間違えて吸収しやすいこと等はとても興味深かったです。

また、実際に放射線測定器を間近で見せていただき、多くの参加者が真剣な眼差しで受講していました。参加者にとって関心の高い内容のため、身近で気になっていることの質問が多くありました。



放射線測定器で線量測定方法の説明に多くの方が聞き入った。



参加者の皆様、森林・林業公開講座に参加いただきありがとうございました。
関東森林管理局
森林技術・支援センター職員一同